

ぶらっとサロン椿通信 令和3年7月号



今号の椿：実生野々市 新種椿(名前はまだ決まっています)→

園芸品種『野々市』極淡桃色 一重 筒〜ラッパ咲き 筒しべ 小輪の実生椿(2016年種蒔)が今年初めて咲きました

報告:有楽齋

毎週火曜日の午後1時過ぎから午後4時半ごろまで、朝日2丁目集会所で「健康麻雀ミーティング」をワイワイガヤガヤとやっていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年3月10日から自粛し**現在休局中**です。本年発行よりタイトルに『椿』を加えました(有楽齋)

ツバキは日本が原産地のため、育てやすく、特別な手入れをしなくても、よく花が咲きます。庭植にすると、年数を重ねるにつれて大きくなるので、鉢植えでコンパクトに育てるとよいでしょう。京都や尾張、久留米、肥後などにも江戸時代からの品種が数多くあります。古くからの品種にこだわって種類を集めるのも、楽しみ方の一つです。今号では『尾張の古典品種』をご案内します。

名古屋城『御殿椿』



ちゅうぶたまてばこ
中部玉手箱

原木は名古屋城内の庭園にあり「御殿椿」と呼ばれる三種のうちの一つ



だいじょうかん
大城冠

名城つばきの会による尾張椿名鑑には全盛貴品として最上位に載っている「御殿椿」の一つ



ちゅうぶはくつる
中部白鶴

古くから名古屋城内にあった「御殿椿」三種のうちの一つ
原木は戦災で焼失

尾張の古典品種



せきとたろうあん
関戸太郎庵

江戸中期の茶人 高田太郎庵遺愛の名椿といわれ 尾張の豪商 関戸家を経て 現在犬山市の常満寺に古木がある



おもいの儘
想いの儘

多様に咲き分ける
尾張地方に古くから栽培されている品種



たいへいらく
太平楽

極大輪
別名出羽大輪
名古屋に古木がある



しやうはく
白八朔

尾張椿名鑑に別格貴品として名が記載



せんごくせん
千石船

尾張椿名鑑に稀貴品として名が記載



にのまる
二の丸

尾張椿名鑑に稀貴品として名が記載



かよいし
通い路

尾張椿名鑑に稀貴品として名が記載



ごくらくちよう
極楽鳥

尾張椿名鑑に稀貴品として名が記載



響の舞
響の舞

尾張椿名鑑に全盛貴品として名が記載



善提心
善提心

尾張椿名鑑に稀貴品として名が記載



たからの筆
宝の筆

尾張椿名鑑に稀貴品として名が記載



ことひめ
琴姫

尾張椿名鑑に稀貴品として名が記載



この糸
此の糸

尾張椿名鑑に稀貴品として記載 此の糸 とは紫の文字を上下に分けて命名

『和みの庭』ほかに掲載の「尾張地方の古典品種」の中から独断で選抜しました。